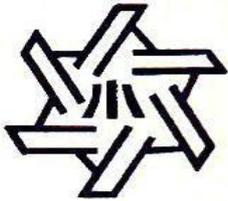


二小通信

令和 6年10月31日
東久留米市立第二小学校
校長 井上 淳
11月号

Tel.042-471-0134 Fax042-472-7981

*学校ホームページ <http://www.higashikurume-school101.jp/~dai2-e/>



『教育目標』

- ◇ 考える子
- ◇ 仲よくする子
- ◇ じょうぶな子

自分の身は自分で守るために

校長 井上 淳

10月6日（日）に毎年実施される「二小避難防災訓練」に参加しました。災害時の避難所体験訓練が主な内容ですが、今年は夏に改訂された『東久留米市東部第二分団自治会連合会 防災マップ』が全参加者に配付されました。小さい子も高齢者も外国人の方にも分かりやすい冊子であり、地域が一丸となって安全・安心の住みよい町づくりをされているのが分かりました。

第二小学校では、本校独自の「危機管理マニュアル」をはじめ、「安全教育全体計画・年間計画」のもと、年11回の避難訓練を実施しています。避難訓練の内容の内訳は
火災2回（二次避難訓練を含む） 地震2回 火災・地震4回
集団下校訓練1回 引き渡し訓練1回 不審者対応訓練1回
と多様です。また、2・3月は「予告なし」で実施しています。

避難訓練の際には、必ず校長による講話があります。その際、私が必ず児童に問いかけることがあります。

- ・どこで何が起きたのかを知っていたか。
- ・避難の仕方の指示をしっかりと聞いていたか。
- ・「自分の身は自分で守ること」に徹したか。

ここ数年、人間の想像を大きく上回る災害が多発し、大勢の方が被害にあいました。我々大人も児童も常に危機意識をもちながら、生活していかなければなりません。特に、大地震は、児童が学校にいるときに起きるのか、登下校中か、一人で家にいるときか・・分かりません。

だからこそ、地震の避難訓練の際には、児童にもう一つ言葉を投げかけています。

- ・学校以外で大地震が起きたときの対応をお家の方と話し合うこと。

学校も地域の中の一つです。子供たちの危機意識を芽生えさせながら、「自分の身は自分で守ることができる」児童を育ててまいります。

